

ドラッカーで読む コロナ後の知識社会

井坂 康志

ものづくり大学教養教育センター教授 ドラッカー学会共同代表

1 人と業績

- ・ 1909 年ウィーン生まれ。2005 年カリフォルニアにて没。全体主義と戦った生涯。
- ・ 第二次大戦を挟み、ジャーナリスト・政治学徒から、コンサルタント・企業研究へ。
- ・ 「自由にして機能する社会」を創生するために、社会的制度としての企業の成立条件を探索。

キーワード

ウィーン
(オーストリア)

フランクフルト
(ドイツ)

政治学

ナチズム批判と
イギリス亡命

産業社会とGM

コンサルティング

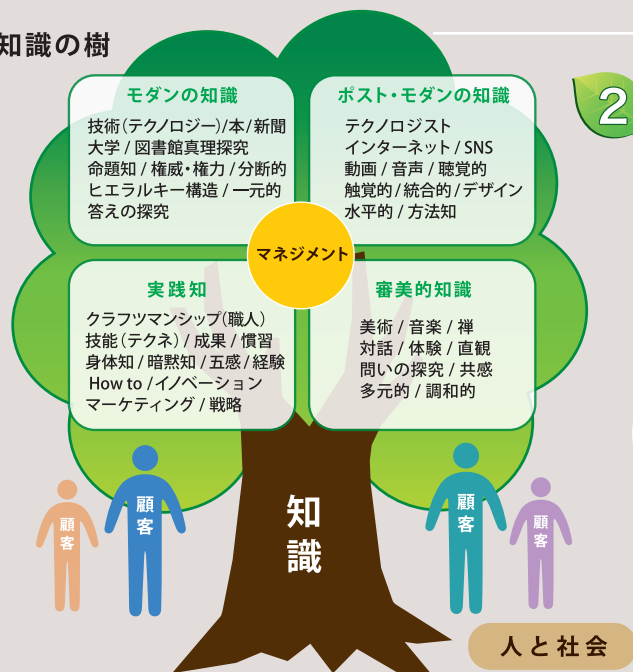
経済至上主義批判

組織社会



ドラッカーの生家

知識の樹



2 マネジメントと社会生態学

- ・ 企業組織の経営手法を著作として発表。経営学ブームの草創期の中心的人物に。
- ・ 企業、社会、歴史、芸術などから日本への強い関心を持つ。
- ・ 固有の観察アプローチを社会生態学と呼ぶ。

キーワード

マネジメント

利益の役割

社会的制度としての
企業

断絶の時代

知識社会

非営利組織

来日講演

日本美術収集

渋沢栄一

3 コロナ後の知識社会

- ・ 2005 年 5 月 7 日インタビュー。
- ・ テクノロジスト教育への期待。
- ・ 知識の歴史的転換と多元的社会論。

クレアモントにて
外国人編集者として最後の独占インタビュー



『週刊東洋経済』2005 年 7 月 2 日号

キーワード

ポスト資本主義社会

ネクスト・ソサエティ

強みと卓越性

予期せぬ成功

未知なるものの
体系化

フィードバック分析

脱印刷文明

テクノロジスト

井坂 康志

1972年埼玉県加須市生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、東京大学大学院人文社会研究科博士課程単位取得退学。博士(商学)。東洋経済新報社編集者、メディア・プロデューサー等を経て現職。ドラッカー学会共同代表、石橋湛山記念財団研究員等。『P・F・ドラッカー—マネジメント思想の源流と展望』(文真堂)で経営学史学会奨励賞受賞。著書・翻訳書等多数。
【連絡先】メール: y_isaka@iot.ac.jp

